

科目	医療学入門(OT)	担当	竹田 徳則	履修学年	1年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

**【授業目標・到達目標】**

本科目では、作業療法士が、広く保健・医療・福祉の各領域において対象者中心のサービスを提供していくうえで必須の職業倫理観を習得する。受講者は、①医療専門職に求められる基本的態度を説明できるようになる、②対象者中心の保健・医療・福祉について説明できるようになる、③保健・医療・福祉の動向に目を向けることで医療専門職に求められている役割を説明できるようになることを目標とする。

**【履修注意】**

毎回出席を原則とする。

授業を通じて、作業療法士は作業療法の知識・技術の習得に偏重した考えでは、社会から求められている専門職業人にはなり得ないことを理解してほしい。視覚教材を用いるため欠席しないこと。予定変更の場合もある。

**【評価方法】**

試験及びレポートを総合して評定する。

**【試験について】**

記述試験 再試験対象者の条件:60点未満

**【予習・復習】**

前回授業内容の重要点を毎回確認する。保健・医療・福祉領域の新聞報道に目を通す習慣をつける。学生は、毎回の講義に対して45分の予習や復習が必要である。

**【教科書】**

資料を配布する。

**【参考書】**

授業中に適宜紹介する。

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	医療機関の理解①	臨床見学・作業療法・理学療法
2	医療機関の理解②	臨床見学・作業療法・理学療法・フィードバック
3	保健・医療・福祉の理解①	保健・医療・福祉の動向と課題・医療保険・介護保険
4	保健・医療・福祉の理解②	インフォームドコンセント・セカンドオピニオン・自己決定尊重
5	保健・医療・福祉の理解③ インフォームド コンセント・セカンドオピニオン・自己決定尊 重	インフォームドコンセント・セカンドオピニオン・自己決定尊重
6	保健・医療・福祉の理解④	QOLの概念・QOLの発展過程・トピックス
7	保健・医療・福祉の理解⑤	人間の尊厳・緩和ケア・尊厳死・安楽死・終末期医療
8	保健・医療・福祉の理解⑥	人間の尊厳・緩和ケア・尊厳死・安楽死・終末期医療
9	前半のまとめ	前半のまとめ
10	職業人の基本①	対人関係構築・コミュニケーションの流れ・コミュニケーション
11	職業人の基本②	対人関係構築・コミュニケーション・面接
12	職業人の基本③	対象者の心理面・社会面・ピアカウンセリング・障害受容
13	職業人の基本④	対象者の心理面・社会面・ピアカウンセリング・障害受容
14	職業人の基本⑤	チームアプローチ・4つのモデル・人間関係・管理運営
15	職業人の基本⑥□	医療の質・自己評価・利用者評価・第三者評価・自己研鑽
16	期末試験	15回の復習・確認・総まとめ